

# よしかわ通信



りん どう  
凛 道



発行

高萩市議会議員

よし かわ どう りゅう  
吉川道隆

高萩市安良川686  
TEL 0293-24-0833  
FAX 0293-22-3340  
ホームページ <http://www.douryu.net>  
E-mail [info@douryu.net](mailto:info@douryu.net)

秋晴れの候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、ひとかたならぬご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

6月議会に一般質問しました、公立幼稚園の延長保育につきましては、来年度より実施されることが決定しました。3年保育は、来年一年間、検討委員会をよく検討して行く予定だそうです。未来を担う子供たちのため、少子化対策として子育て支援の充実の意味でも、より良い教育環境を提供できるよう、考えていただきたいと思えます。

高萩市の行財政改革として、既に市役所側から説明会等が開かれていましたが、これから、職員の給与カット、集会所等の管理の移譲、各種市民サービスの料金見直しなどの案が出され、市民の我慢を余儀なくされる可能性が出ている状況です。本来なら、健全であるはずの高萩市の財政は、土地開発公社と住宅開発公社の負債を一般会計から補てんせざるを得ないことから、非常に厳しい状態に追い込まれる羽目になってしまいました。いずれにしても、計画どおり平成23年度に黒字転換にするためには、気を引き締めて、いろいろな面から、改善に取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、私なりに最善の努力を尽くしてまいります。皆様方の御理解と今後の御協力および、御意見、御指導をよろしくお願い申し上げます。

## 平成20年9月議会

# 一 般 質 問

### 日本一の子育て支援について

#### ① 公立幼稚園の3年保育の取り入れと、延長保育、及び放課後子ども教室について

前回質問したときは、検討するとの答弁だったが、その後、進展しているのか？ 6月議会の後、公立幼稚園の保護者に、3年および延長保育に関するアンケートが出ていたが、その結果は？

**教育長答弁▶** アンケートの結果と、6月議会が出された保護者197名からの請願をふまえ、平成21年度から授業料据え置きで、15時まで延長保育を実施する。3年保育については来年度公立幼稚園の適正配置検討委員会を設置、関係機関と協議し、準備を進める。

アンケートの結果は、延長保育や預かり保育は、半数以上の方が必要と答えた。

延長保育	必要 52%	必要ない 48%	
実施した場合のタイプは	1日だけ 11%	週2～3日 39%	毎日 50%
延長時間は	2時半から3時まで 80%		
預かり保育	必要 58%	必要ない 42%	
実施した場合のタイプは	1日だけ 7%	週2～3日 33%	毎日 60%
預かり時間	3時 31%	4時 29%	5時 23%

#### ② 延長保育を検討する際、職員をきちんと補充して、体制を整え、余裕のある職員配置をするのかどうか？

予算的に、教育にも回して先生を充実させてあげないと、今の先生は、「今のやり方」で子供をみるのが精いっぱい、職員体制を整えなければできない。一人でも手のかかる子がいた場合、30人程度の子供を一人の先生が見るというのは不可能。目が行き届かなくて当たり前だから、どんな事故につながるかわからない。先生たちも体調が悪くても休むわけにもいかない。余裕のある職員配置をした上で、保育内容を充実させていただきたい。

**教育長答弁▶** 幼稚園教諭の負担はかかると思うが、補充はしないで、主任、園長、ボランティア等の活用を図って対応して、現体制で実施したい。

### ③ 病後児保育について

子育てしやすい環境とは、補助を出すなどの、お金の問題だけではない。本当に必要な環境とは何か？ 母親が、仕事をしながら子供を育てる場合に不可欠な、病後児保育について、**私は平成14年9月、15年12月議会にも質問したが、「検討します」という返事ばかりで一向に、進展しない。**現在の状況は？

平成16年度に子育て支援総合推進モデル市町村事業(全国で子育て支援に積極的に取り組んでいる市町村を指定し、支援するというもの) 茨城県では水戸市とつくば市だけが指定されている。

**指定されるための必須事業**としては、

- 1、子育て短期預かり支援事業  
放課後児童クラブ、一時保育、病後児保育（施設型）
- 2、居宅子育て支援事業  
ファミリーサポートセンター事業、病後児保育（派遣型）、育児支援家庭訪問事業
- 3、子育て相談支援事業  
地域子育て支援センター又はつどいの広場を複数個所で実施

他にもそれぞれの市町村では、独自の支援事業に取り組んでいる。病後児だけでなく、病児の保育も行っている自治体もあり、放課後児童クラブの預かり時間を午後8時まで延長しているところもある。16年にこのモデル市町村が指定されるとき、高萩市ではどのように対応したのか？

**市長答弁▶** 病後児保育は、国の補助事業にもなっている。他の実施自治体の状況を調査し、民間保育所の意向を確認していきたい。

### ④ スイミングの実施について

北茨城市の私立幼稚園ではスイミングを取り入れているが、高萩市でも民間のスクールから、公立幼稚園に協力させてほしいという申し出があった。市内の公立幼稚園が定員割れを何か特色を持たせて歯止めと思えば、利用する方法は考えられないか？ 公立で取り入れているところはあまりないから、十分高萩市の独自性として評価されるのでは？

**教育長答弁▶** 幼稚園教育は遊びを通して総合的に指導されるもの。水遊びに関しては、東幼稚園では小学校のプールを借りて実施してきたので、他の園でもそのような形で実施したい。

### ⑤ 「子育て支援日本一のまちをめざして」

いろいろな工夫をして、高萩市にいてよかったと思われるようなまちにしていきたい。実際、「子育て支援日本一をめざして」という目標を掲げて、行動計画を作っている自治体が、**熊本県合志市**で、子育て支援のためのいろいろな取り組みをしている。たとえば、**子育てサービスおためし券**をつくり、乳幼児健診などで保護者に配布している。一時保育や子育て支援センターの利用などのおためし券がつづりになっていて、通常有料の一時保育が無料で利用できるのも、普段利用したことのない保護者にそういったサービスを利用するきっかけづくりとなっている。虐待や育児ストレスを招くような、子どもと二人だけで過ごし、ともすると家に閉じこもってしまう就園前の親子を援助するため、「**孤立している親子をどのようにして支援の場に呼び出せるか。**」ということを考えて作られたサービスで、外にでることができない親を後押しするきっかけになればということ。合志市は人口54000人のそんなに大きくないまちだが、子育て支援には力を入れている。予算があってもなくても、この地域にはあまり見られないような、施策を取り入れ、**高萩市独自の子育て支援を進めて行っていただきたい。**

ある村長さんは「少子化は国の大問題だが、国の施策を待っていたのでは地域社会が崩壊する。産みやすく、そだてやすい環境をつくるのが、次世代を作る。それが自治体の仕事だ。」と強調している。全くそのとおり。**国任せでなく、高萩市がどうするかは、高萩市が考えなければならない。**

**市長答弁▶** 高萩市でも次世代育成支援対策行動計画を策定し子育て支援を推進している。特徴的な取り組みとしては、総合福祉センターの集いの広場と、乳児院や児童家庭支援センターがあること。私が高萩の子供たちに求めるものは、社会教育の項目として、直接体験すること、自然に触れる体験豊かな子供たちに育ててほしいということである。

## 病児・病後児保育について

平成14年、15年と続けて質問した病後児保育について、今回も質問したが、あいかわらず、「検討します」というような答弁だった。このような返答ではあまり期待はできない。しかし、5年間の間に、県内でも実施施設はかなり増えており、下の表にあるように、茨城県で14の自治体で19施設が病後児保育を行っており、その必要性は認識されてきている。子育て支援をしていると言うのなら、市内に一つでもいいから、病後児保育施設を作っていただきたいと考えている。

	市町村名	施設名	設置運営	施設種別
1	水戸市	日本赤十字社茨城県支部乳児院	日本赤十字社茨城県支部	乳児院
2	日立市	森山聖徳保育園	(社福) 聖徳福祉会	保育所
3	龍ヶ崎市	ことり保育園分園	(社福) 桜光会	保育所
4	笠間市	みか保育園	みか保育園	保育所
5	つくば市	つくば記念病院病後児保育施設 ピーターパン	つくば記念病院/(医) 筑波記念会	病院
6		さくら学園保育園	(社福) 稲田福祉会	保育所
7	ひたちなか市	たかば保育園	(社福) 清心福祉会	保育所
8	鹿嶋市	鹿嶋さくら園	(社福) 鹿島泉会	保育所
9	常陸大宮市	大宮聖慈保育園	(社福) 聖泉福祉会/大宮聖慈保育園	児童福祉施設
10	筑西市	いずみ保育園	(社福) 睦福祉会/いずみ保育園	保育所
11		川島第二保育園	(社福) 川島福祉会/川島第二保育園	保育所
12		たけのこ保育園	(社福) 博有会/たけのこ保育園	保育所
13	坂東市	Hospital Bando 病後児保育施設 七星	坂東市/(医) 清風会	病院
14	鉾田市	あかつき保育園	(社福) 東湖園	保育所
15	小美玉市	さくら保育園	(社福) 泰明会	保育所
16		納場保育園	(社福) 仲田会	保育所
17		玉里第二保育園	(社福) 照桑福祉会	保育所
18	東海村	サンフラワー こどもの森保育園	(社福) 孝友会	保育所
19	大子町	保内郷病児保育室 ひまわり	保内郷メディカルクリニック/ (医) 保内郷厚生会	診療所

### サービスの一例

#### 1、対象児

- ①前日までに医師の診断を受け、病気回復期と認められた近隣の認証保育所・学童保育所、幼稚園等の通園している0～就学前までの児童
- ②感冒、消化不良症、麻疹（はしか）、水痘（みずぼうそう）、風疹
- ③喘息などの慢性疾患をもつ児童
- ④外傷、骨折等の治療中で普通保育では難しい児童

#### 2、利用方法（登録制）

事前に「利用登録」をします。（事前にお子さまのことをできるだけ理解し、保育にあたるために必要）

#### 3、定員

2名《先着順》（将来利用者が多いときは4名まで増員予定）

#### 4、保育時間

曜日 月～金曜日 時間 8:00～18:00

休日 土・日・祝祭日・年末年始（12/31日～1/4日）

#### 5、利用料金

日額 ￥2000

給食・おやつ代 ￥300

## 【これからの病児・病後児保育事業（平成20年度からの国の施策）】

病児・病後児保育事業を更に強化するため、2008年度より変更されています。今までの問題点としては、補助金額が少なく、ほとんどの施設で赤字経営となっていることで、再編の要点は下記のとおりです。

○ソフト交付金でなく、補助金となる。

○予算構成：負担の割合

地方自治体：国1／3、都道府県1／3、市町村1／3

\*補助金となるので、全国の事業について国が実態を把握し、指導や監査をすることになる。

○子どもの状態に応じて

①病児対応型 @848万円（定員4名以上）

②病後児対応型 @679万円（ “ ” ）

③体調不良児対応型 @441万円（定員定めず）

実施に際して必要な経費の一部を保護者負担とすることができる。事業費の1／2相当が適当。

### 吉川の 考察▶

今回は、子育て支援について質問をしましたが、対応の甘さが感じられます。まず、最初の幼稚園の延長保育、預かり保育などのアンケートですが、このアンケートは、現在、**子どもを幼稚園に預けている保護者だけ**を対象にとったもので、**保育園に預けている子どもやこれから預けようとする子どもの保護者は含まれていません**。本当は幼稚園教育を受けさせたいと思いつつながら、仕事ができないから、仕方なく保育園に預けている親だっています。幼稚園が延長、預かりをしてくれれば、幼稚園に行かせたいと思うのですから、そういう方たちの意見も聞くべきだと思っています。また、延長保育をすることに決めたものの、職員の補充は考えていないとのことでしたが、現場の意見をもっと聞かなければいけません。私立幼稚園・保育園では、時間の長い分1クラスあたり2人以上の体制でおこなっております。しかし、市立幼稚園の先生は35人あたり、たった1人です。時間だけ延長するというのは、無理ではないでしょうか？ 教育委員会は現状のままで補充はしないと言っていました。少子化により今までより、クラスが減っているのですから、その分の先生が余ってくる、その先生方を余るから幼稚園以外の他の部署に回すのではなく、そういう先生方にそのまま残っていただき、延長された時間の児童の指導に協力していただければどうかと思います。

病児、病後児保育については、平成14年から何度も質問してきましたが、進展していません。**本当に子育て支援をしようという気があるのか？ と疑うほどです**。いくら一人当たりいくらという補助を出しても、実際の子育てをしているときには、お金の問題でなく、困ってしまうことがたくさんあります。「もうすぐ治りそうなんだけど、ちょっと保育園には行かせられない。」くらいの子供がいて、どうしても仕事を休めない日は、お母さんはどうすればいいのでしょうか？ そんなとき必要になるのが病後児保育なのです。**今まで検討されなかった分、早急な対応をお願いしたいと思っています**。

市長は、高萩市の特徴的な取り組みとして「つどいの広場」をあげていますが、今やそのような取り組みはどこでもやっています。それにもともとあの総合福祉センターの何も活用されていなかった場所を子供のプレイルームとして利用すればどうかということは、平成14年に「他の市町村ではそういう場所があるから、高萩市にも……。」と吉川が提案したことです。そのときに始めて、「今後、子育て教室的なサービスを提供する場として検討したい」という答弁が出て、検討されることになったのです。**そんなことを、今さら高萩市の特徴だと言っているようでは、子育て支援に対するレベルの低さが感じられます**。やらなければならないことはたくさんあります。様々な問題を抱える高萩市ではありますが、**これだけは負けない、日本一の子育て支援を目指して、もっと視野を広げ真剣に取り組んでいただきたい**と考えております。